

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限(2009年11月30日設定)
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ」の投資証券（米ドル建て）およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"><li>・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</li><li>・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li><li>・株式への直接投資は行いません。</li></ul>
分配方針	毎決算時（毎年5月12日および11月12日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。

## 運用報告書（全体版）

### イーストスプリング・ インドネシア株式オープン

第20期（決算日 2019年11月12日）

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インドネシア株式オープン」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〔お問い合わせ先〕

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス:<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込分配金	期中騰落率	投資信託証券組入比率	純資産総額
16期(2017年11月13日)	円 10,176	円 0	% 3.4	% 98.6	百万円 15,040
17期(2018年5月14日)	9,077	0	△10.8	97.7	11,396
18期(2018年11月12日)	8,816	0	△2.9	98.2	10,955
19期(2019年5月13日)	8,893	0	0.9	97.8	9,966
20期(2019年11月12日)	9,087	0	2.2	98.2	9,455

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指標が存在しないためベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

## 当期中の基準価額等の推移

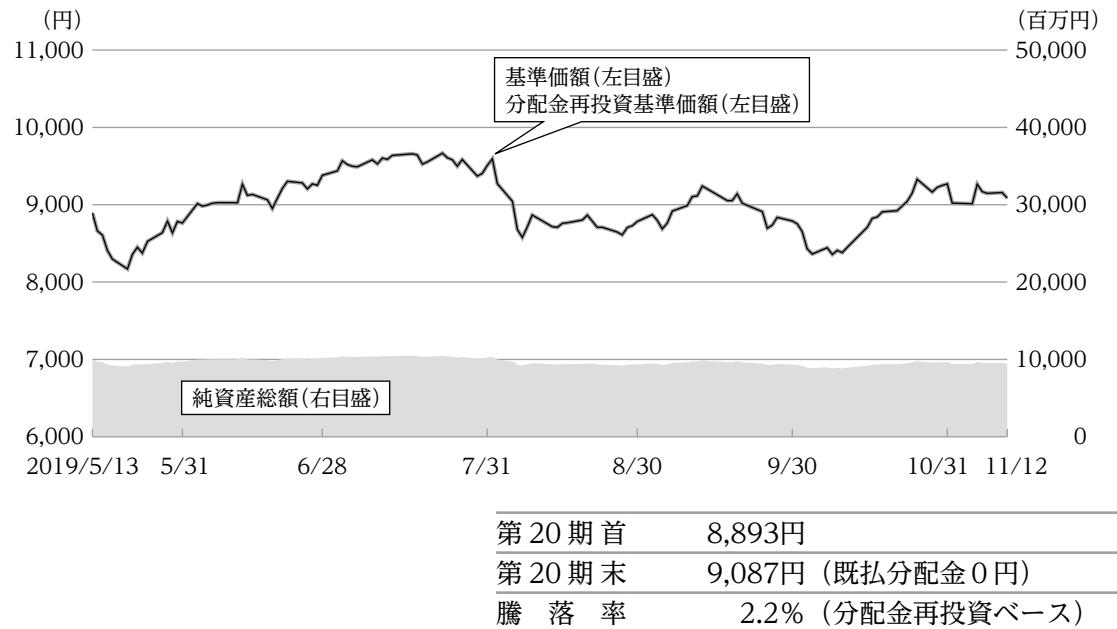
年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券組入比率
			%
(期首) 2019年5月13日	円 8,893	% —	% 97.8
5月末	8,763	△1.5	93.3
6月末	9,380	5.5	98.2
7月末	9,506	6.9	99.3
8月末	8,784	△1.2	98.4
9月末	8,789	△1.2	99.0
10月末	9,270	4.2	99.1
(期末) 2019年11月12日	9,087	2.2	98.2

(注) 謄落率は期首比です。

## 運用経過

### 基準価額等の推移について

(2019年5月14日～2019年11月12日)



(注1)分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2)分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3)分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

### 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

↑  
上昇要因

- ・インドネシア株式市場が上昇したこと。

## 投資環境について

### インドネシア株式市場

期初は2019年4月に行われた大統領選挙後に現職ジョコ大統領の再選を不服とする大規模デモが発生したことなどを嫌気して、インドネシア株式市場は下落しました。その後、5月末に大手格付け会社S&Pがインドネシア国債の格上げを発表したことや、インドネシア中央銀行（BI）が6月に市中銀行の預金準備率を引き下げたこと、7月には1年10ヵ月ぶりに利下げに踏み切ったことなどを好んで、政府が景気対策を発表したことでも株価上昇を後押ししました。しかし、8月上旬の米国による対中関税第4弾の発表を受けて株式市場は大幅な下落となりました。9月に入ると米中貿易協議への期待を背景に一時買い戻されたものの、インドネシア国会での汚職撲滅法や刑法の改正案などを巡り抗議デモが各地で発生したことを嫌気して、さらに下落しました。10月中旬以降は米中貿易協議進展への期待などから株価は持ち直し傾向となりました。

### 為替市場

当期のインドネシアルピアは対円で上昇しました。期初から2019年7月下旬にかけては、大手格付け会社S&Pによる国債の格上げやBIの金融緩和観測などを背景に、債券市場に外国人投資家からの資金が流入し、ルピアは堅調に推移しました。8月には米中貿易摩擦激化への懸念から世界的にリスク回避の動きが強まり、ルピアは下落しましたが、9月以降は米中貿易協議進展への期待や10月に発足した2期目のジョコ政権への期待などを背景に上昇傾向となりました。

### 国内債券市場

期初から2019年8月中旬にかけては、世界の主要中央銀行による金融緩和姿勢や米中貿易協議を巡る不透明感から景気後退懸念が高まる中、日本国債利回りは低下（価格は上昇）しました。しかし、その後は日本銀行による追加緩和期待の後退や国債買い入れオペ減額観測などを受けて、日本国債利回りは上昇しました。さらに10月中旬以降は、米国の利下げ打ち止め観測が高まり、日本国債利回りは期末にかけて上昇しました。

## ポートフォリオについて

### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ（以下「インドネシア・エクイティ」といいます。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

### インドネシア・エクイティ

主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式を主要な投資対象として、企業の本質的な価値を重視したバリュー投資を基本とし、ボトムアップ・アプローチに基づく銘柄選択により、中長期的な超過収益の獲得を目指した運用を行いました。

当期は通信会社のTelekomunikasi

Indonesia、食品会社のCharoen Pokphand Indonesia、大手銀行のBank Central Asia の保有などがプラスに寄与した一方で、たばこ会社のGudang GaramとHM Sampoerna、大手銀行のBank Negara Indonesia、建設機械リース販売会社のUnited Tractorsの保有などはマイナスに影響しました。

### イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス（1～10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきました。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第20期	
	2019年5月14日 ～2019年11月12日	
当期分配金 (対基準価額比率)	(円) (%)	— —
当期の収益 当期の収益以外	(円)	— —
翌期繰越分配対象額	(円)	762

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注3)ー印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるインドネシア・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

### インドネシア・エクイティ

今後は2期目のジョコ政権のもとで、インフラ投資の強化や外資規制の見直しなどの政策が継続し、選挙前で一服していたインフラ整備などのプロジェクトが再開されることは景気の下支えになるものとみられます。11月に入ってから発表された米国や中国の主要経済指標が安定の兆しを示した一方で、世界景気は引き続き減速傾向であり、米中貿易協議の包括的な合意の実現性や、2020年の米大統領選挙を巡る政治的なリスクなどには注意が必要です。運用担当者は状況を注視しつ

つ、市場の調整局面はファンダメンタルズが堅固な企業の株式を割安な水準で組み入れる好機と考えています。業種別では、不動産が相対的に魅力的であると考える一方で、生活必需品は割高との見方を継続しています。

### イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型I (適格機関投資家向け)

経済環境の改善などを背景に世界的に債券利回りが上昇（価格は下落）したとしても、日本国債の利回りは日銀のイールドカーブコントロールのレンジ内で推移するとみています。今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス（1-10年債）を中心長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

## 1万口当たりの費用明細

(2019年5月14日～2019年11月12日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a)信託報酬	66円	0.731%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、9,082円です。
(投信会社)	(27)	(0.302)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(37)	(0.412)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)その他費用	1	0.016	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	( 1)	(0.008)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他1)	( 0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
合計	67	0.747	

(注1)期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2)各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

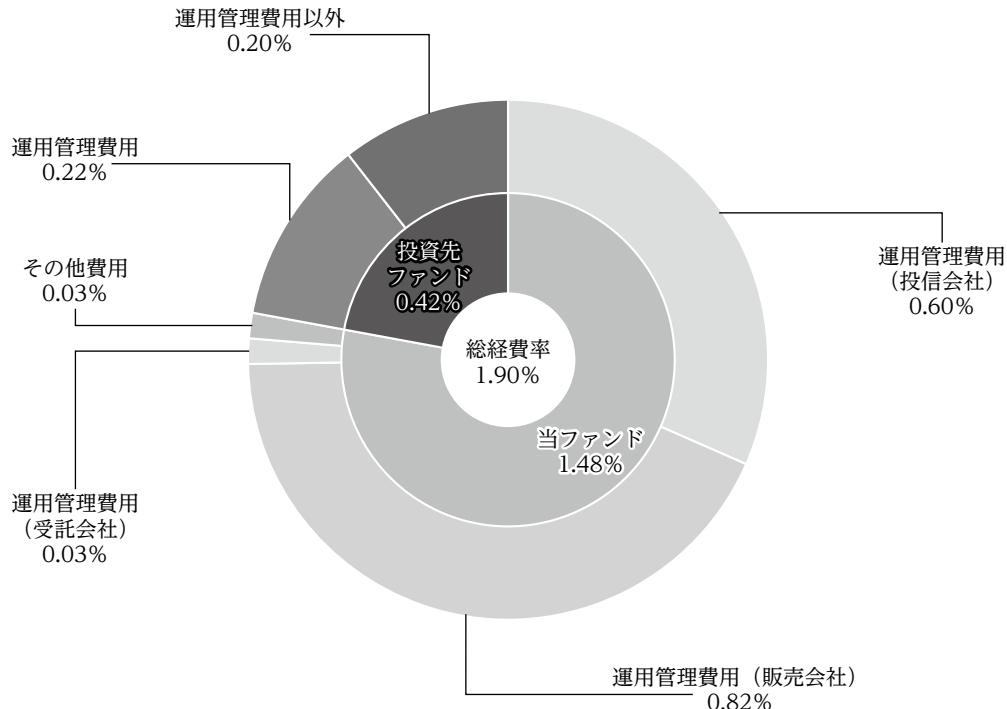
(注3)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4)各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

## (参考情報)

### ■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 売買及び取引の状況

(2019年5月14日から2019年11月12日まで)

### 投資信託証券

			買付		売付	
			口数	金額	口数	金額
外国	米ドル建 ルクセンブルグ籍	イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	千口 251	千米ドル 5,000	千口 624	千米ドル 11,800

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

## 利害関係人との取引状況等

(2019年5月14日から2019年11月12日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 組入資産の明細

(2019年11月12日現在)

### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)		当期末		
	口数	口数	評価額	比率	
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型I (適格機関投資家向け)	千口 15,851	千口 15,851	千円 17,215	0.2	
合計	15,851	15,851	17,215	0.2	

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

### (2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)		当期末		
	口数	口数	評価額		比率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	千口 4,724	千口 4,351	千米ドル 84,901	千円 9,268,686	98.0
合計	4,724	4,351	84,901	9,268,686	98.0

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

## 投資信託財産の構成

(2019年11月12日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 17,215	% 0.2
投 資 証 券	9,268,686	97.1
コ ー ル・ロ ー ン 等、そ の 他	264,335	2.7
投 資 信 託 財 産 総 額	9,550,236	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産(9,268,686千円)の投資信託財産総額(9,550,236千円)に対する比率は97.1%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、なお、2019年11月12日における邦貨換算レートは、1米ドル=109.17円です。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年11月12日現在)

項目	当期末
(A) 資 产 产	9,550,236,755円
コ ー ル・ロ ー ン 等	264,334,419
投 資 信 託 受 益 証 券(評価額)	17,215,839
投 資 証 券(評価額)	9,268,686,497
(B) 负 債	95,166,454
未 払 解 約 金	23,741,434
未 払 信 託 報 酬	69,895,688
未 払 利 息	772
そ の 他 未 払 費 用	1,528,560
(C) 純 資 产 総 額(A-B)	9,455,070,301
元 本	10,404,710,090
次 期 繰 越 損 益 金	△ 949,639,789
(D) 受 益 権 総 口 数	10,404,710,090口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,087円

(注1) 元本の状況

期首元本額	11,207,103,412円
期中追加設定元本額	485,093,632円
期中一部解約元本額	1,287,486,954円

(注2) 1口当たり純資産額は9,087円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

## 損益の状況

当期 (自2019年5月14日 至2019年11月12日)

項目	当期
(A) 配 当 等 収 益	△ 108,505円
受 取 利 息	21
支 払 利 息	△ 108,526
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	270,608,072
売 買 益	371,631,019
売 買 損	△101,022,947
(C) 信 託 報 酉 等	△ 71,435,048
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	199,064,519
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△862,261,249
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△286,443,059
(配 当 等 相 当 額)	( 529,943,951)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△816,387,010)
(G) 計 (D+E+F)	△949,639,789
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	△949,639,789
追 加 信 託 差 損 益 金	△286,443,059
(配 当 等 相 当 額)	( 529,943,951)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△816,387,010)
分 配 準 備 積 立 金	263,422,722
繰 越 損 益 金	△926,619,452

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(529,943,951円)および分配準備積立金(263,422,722円)により、分配対象収益は793,366,673円(10,000口当たり762円)ですが、当期に分配した金額はありません。

## 分配金のお知らせ

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送させていただきました。

## お知らせ

該当事項はありません。

〈参考情報〉

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	
形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／オープン・エンド型	
表示通貨	米ドル	
運用の基本方針	主として、インドネシアの企業の株式または株式関連証券に投資を行い、長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	<p>以下の企業の株式または株式関連証券を主要投資対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インドネシアで設立または上場している企業</li> <li>・インドネシアにおいて主に事業展開を行っている企業</li> </ul> <p>なお、ADR、GDR等の預託証書、転換社債、優先株、ワラント債にも投資することができます。</p>	
ベンチマーク	MSCI Indonesia 10/40 Index (MSCIインドネシア 10/40指数) ※1	
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	管理会社	イーストスプリング・インベストメンツ（ルクセンブルグ）S.A.
申込手数料	ありません。	
運用報酬	年率0.225%	
管理費用等	年率0.200%程度	
その他の費用・手数料	組入有価証券の売買時に発生する売買委託手数料等がかかります。	
設立日	2007年7月2日	
決算日	毎年12月31日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）	
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	ICE BofAML 国債インデックス（1～10年債）※2	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。</li> <li>・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。</li> <li>・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>	
申込手数料	ありません。	
信託報酬	年率0.22%（税抜0.2%）	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日（休業日の場合は翌営業日）	

※1 MSCI指数はMSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※2 ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

「イーストスプリング・インドネシア株式オーブン」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメント・インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ」を含む「イーストスプリング・インベストメント・インドネシア・エクイティ・ファンド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2018年12月31日を基準日とするAnnual Report（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

### 損益計算書及び純資産変動計算書

2018年12月31日に終了した事業年度		米ドル
<b>期初純資産</b>		<b>191, 340, 211</b>
<b>収益</b>		
配当金	3, 358, 476	
預金利息	2, 217	
<b>収益合計</b>	<b>3, 360, 693</b>	
<b>費用</b>		
運用報酬	963, 156	
管理費用	237, 574	
保管銀行費用	108, 102	
取引手数料	48, 360	
管理・名義書換代行事務費用	47, 337	
監査費用、公告・印刷費用	(5, 296)	
税金	33, 886	
借越利息	2	
役員報酬	689	
その他費用	2, 712	
<b>費用合計</b>	<b>1, 436, 522</b>	
<b>純投資収益（損）</b>	<b>1, 924, 171</b>	
投資有価証券の売却に係る実現純利益（損）	1, 067, 944	
外国為替先渡取引に係る実現純利益（損）	25, 625	
外国為替に係る実現純利益（損）	(128, 448)	
<b>実現純利益（損）</b>	<b>965, 121</b>	
投資有価証券に係る未実現評価益（損）の変動額	(24, 561, 198)	
外国為替先渡取引に係る未実現評価益（損）の変動額	(6)	
外国為替に係る未実現評価益（損）の変動額	(7, 642)	
<b>未実現評価益（損）の純変動額</b>	<b>(24, 568, 846)</b>	
<b>運用による純資産の純増加額（減少額）</b>	<b">(21, 679, 554)</b">	
<b>資本金の変動</b>		
投資証券の発行	78, 269, 747	
投資証券の解約	(104, 841, 192)	
<b>当期の純資産の変動額</b>	<b>(48, 250, 999)</b>	
<b>期末純資産</b>	<b>143, 089, 212</b>	

投資有価証券明細表（2018年12月31日現在）

(米ドル表示)

銘柄	数量	通貨	取得金額	評価金額	対純資産比率 (%)
公認の証券取引所に上場されているまたは他の規制 ある市場で取引されている譲渡可能な有価証券					
<b>株式</b>					
<b>Indonesia</b>					
Adaro Energy Tbk PT	35,023,200	IDR	4,241,205	2,922,609	2.04
Alam Sutera Realty Tbk PT	40,625,200	IDR	1,702,264	870,540	0.61
Astra International Tbk PT	17,479,000	IDR	10,257,424	9,873,954	6.90
Bank Central Asia Tbk PT	6,837,600	IDR	7,853,649	12,209,999	8.52
Bank Danamon Indonesia Tbk PT	6,996,551	IDR	2,539,332	3,652,046	2.55
Bank Mandiri Persero Tbk PT	13,394,560	IDR	5,754,575	6,784,675	4.74
Bank Negara Indonesia Persero Tbk PT	14,036,236	IDR	6,820,437	8,483,439	5.93
Bank Rakyat Indonesia Persero Tbk PT	55,251,500	IDR	9,972,805	13,888,769	9.70
Bank Tabungan Negara Persero Tbk PT	10,790,383	IDR	2,331,551	1,882,388	1.32
Bukit Asam Tbk PT	5,121,400	IDR	1,475,901	1,512,501	1.06
Bumi Serpong Damai Tbk PT	43,610,548	IDR	5,417,117	3,759,013	2.63
Charoen Pokphand Indonesia Tbk PT	12,090,900	IDR	2,970,987	5,999,777	4.19
Ciputra Development Tbk PT	22,542,439	IDR	2,001,062	1,563,727	1.09
Gudang Garam Tbk PT	1,132,400	IDR	5,695,095	6,503,911	4.55
Hanjaya Mandala Samoerna Tbk PT	16,454,600	IDR	4,247,689	4,192,758	2.93
Indah Kiat Pulp & Paper Corp Tbk PT	5,568,300	IDR	6,817,897	4,417,161	3.09
Indo cement Tunggal Prakarsa Tbk PT	3,679,000	IDR	5,828,685	4,661,919	3.26
Indofood CBP Sukses Makmur Tbk PT	3,226,500	IDR	1,757,626	2,315,723	1.62
Indofood Sukses Makmur Tbk PT	8,348,900	IDR	4,516,200	4,271,930	2.99
Jasa Marga Persero Tbk PT	4,057,586	IDR	1,545,885	1,192,752	0.83
Kalbe Farma Tbk PT	42,834,200	IDR	4,344,925	4,471,702	3.13
Matahari Department Store Tbk PT	4,747,500	IDR	4,030,065	1,825,961	1.28
Pabrik Kertas Tjiwi Kimia Tbk PT	2,679,300	IDR	2,147,878	2,042,598	1.43
Pakuwon Jati Tbk PT	41,014,200	IDR	1,904,648	1,746,484	1.22
Perusahaan Gas Negara Persero Tbk	25,276,400	IDR	6,673,098	3,680,355	2.57
Semen Indonesia Persero Tbk PT	6,540,500	IDR	5,611,107	5,165,917	3.61
Surya Citra Media Tbk PT	9,258,600	IDR	1,679,966	1,189,120	0.83
Telekomunikasi Indonesia Persero Tbk PT	47,002,600	IDR	11,748,882	12,105,751	8.46
Tower Bersama Infrastructure Tbk PT	4,008,200	IDR	1,630,981	991,038	0.69
Unilever Indonesia Tbk PT	1,495,200	IDR	4,196,814	4,662,231	3.26
United Tractors Tbk PT	1,509,386	IDR	3,016,107	2,835,282	1.98
	140,731,857		141,676,030		99.01
<b>株式合計</b>			<b>140,731,857</b>	<b>141,676,030</b>	<b>99.01</b>
<b>その他の譲渡可能な有価証券</b>					
<b>株式</b>					
<b>Indonesia</b>					
Berlian Laju Tanker Tbk PT	35,965,332	IDR	1,430,928	—	—
<b>株式合計</b>			<b>1,430,928</b>	<b>—</b>	<b>—</b>
<b>その他の譲渡可能な有価証券合計</b>					
<b>投資総額</b>			<b>142,162,785</b>	<b>141,676,030</b>	<b>99.01</b>
その他資産				1,413,182	0.99
<b>純資産</b>				<b>143,089,212</b>	<b>100.00</b>

「イーストスプリング・インドネシア株式オープン」が組み入れている「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期 2018/2/27 ～2019/2/25		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	23円	0.215%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,858円です。  (投信会社) (販売会社) (受託会社)
	(15)	(0.140)	委託した資金の運用の対価
	( 2)	(0.022)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後的情報提供等の対価
	( 6)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.014	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  (監査費用) (その他)
	( 1)	(0.014)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
	( 0)	(0.000)	余資運用に係る費用(マイナス金利相当額)
合計	24	0.229	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 組入資産の明細

(2019年2月25日現在)

### 公社債

#### (A) 種類別開示

##### 国内（邦貨建）公社債

##### 組入有価証券明細表

区分	当期					末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 648,000	千円 696,257	% 96.5	% —	% 40.2	% 24.3	% 32.0	
合計	648,000	696,257	96.5	—	40.2	24.3	32.0	

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) 一印は組入れなしです。

## (B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債  
組入有価証券明細表

種類	銘柄	当期			末償還年月日
		利率	額面金額	評価額	
国債証券	第300回 利付国債（10年）	%	千円	千円	
	第301回 利付国債（10年）	1.5	8,000	8,008	2019/03/20
	第305回 利付国債（10年）	1.5	25,000	25,132	2019/06/20
	第306回 利付国債（10年）	1.3	7,000	7,084	2019/12/20
	第310回 利付国債（10年）	1.4	20,000	20,336	2020/03/20
	第311回 利付国債（10年）	1.0	25,000	25,460	2020/09/20
	第313回 利付国債（10年）	0.8	50,000	50,764	2020/09/20
	第315回 利付国債（10年）	1.3	25,000	25,762	2021/03/20
	第351回 利付国債（10年）	1.2	20,000	20,638	2021/06/20
	第47回 利付国債（20年）	0.1	50,000	50,796	2028/06/20
	第48回 利付国債（20年）	2.2	40,000	41,496	2020/09/21
	第53回 利付国債（20年）	2.5	50,000	52,442	2020/12/21
	第60回 利付国庫債券（20年）	2.1	40,000	42,572	2021/12/20
	第63回 利付国債（20年）	1.4	30,000	31,813	2022/12/20
	第67回 利付国債（20年）	1.8	50,000	54,290	2023/06/20
	第75回 利付国債（20年）	1.9	45,000	49,754	2024/03/20
	第76回 利付国債（20年）	2.1	20,000	22,773	2025/03/20
	第80回 利付国債（20年）	2.1	38,000	43,489	2025/06/20
	第87回 利付国債（20年）	2.2	55,000	64,268	2026/03/20
	第91回 利付国債（20年）	2.3	50,000	59,372	2026/09/20
合計			648,000	696,257	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。